

各調査別の喫煙率の推移について

調査名	調査対象	結果
<p>平成 25 年 国民生活基礎調査 (厚生労働省)</p> <p>3 年ごとの大規模調査で喫煙を調査</p> <p>(別紙 1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の世帯から無作為抽出 ・平成 25 年は 5,530 地区の世帯が対象で、喫煙については約 10 万人回答 	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙している者(毎日吸っている+時々吸う日がある)を性・年齢階級別に平成 13 年と比較すると、女性の 50 代から 60 代以外の年代で低下しており、男女とも 20 代が最も低下。
<p>平成 24 年 国民健康栄養調査 (厚生労働省)</p> <p>毎年実施</p> <p>(別紙 2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1 道府県 10 地区, 東京都 15 地区 計 475 地区選定 ・喫煙については、満 20 歳以上にアンケート調査。 平成 24 年は約 13 千人回答 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の喫煙率は 34.1%で、23 年の 32.4%より増加。40 歳代以上で増加 ・女性の喫煙率は 9.0%で、20 歳代から 50 歳代が 12%前後で、それ以降は低い値。男性に比べ、平成 13 年以降、8~11%の間を上下しながら漸減。
<p>平成 26 年 全国たばこ喫煙者率調査 (日本たばこ産業株式会社)</p> <p>毎年実施</p> <p>(別紙 3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国成年男女を対象に、平成 26 年は約 32 千人に依頼し、約 2 万人回答 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人男性の平均喫煙率は 30.3%。これは、昭和 40 年以降のピーク時(昭和 41 年 83.7%)と比較すると 53 ポイント減少。 ・年代別にみると、急激な喫煙率の減少傾向が見られる 60 歳以上は 21.1%で、ピーク時(昭和 41 年 78%)と比較すると、57 ポイント減少。平成 26 年の喫煙率が一番高い年代は 40 歳代で 38.5%。 ・成人女性の平均喫煙率は 9.8%であり、ピーク時(昭和 41 年の 18%)より漸減しているものの、ほぼ横ばい状況。平成 26 年の喫煙率が一番高い年代は 40 歳代の 14.8%、最低は 60 歳以上の 5.6%。